

# 地域の一員として

小学生や中学生は、一日のほとんどを自分たちが住んでいる地域の中で活動している。保護者は地域の外で働いていることが多く、災害時には地域にいないことが考えられる。今回の震災では、中学生が地域の大きな力となるのが分かり、今後も様々な場面での活躍が期待されている。地域の防災について知り、自分たちが取り組めることを考えてみよう。



防災力を高めている地域防災リーダー（SBL）の方々

## 1 地域の防災

仙台市では、町内会を母体とする自主防災組織が作られており、2016（平成28）年4月現在の組織率は98.5%と非常に高い。自主防災組織は共助の中核となるもので、大規模な災害時には地域住民が協力して「自分の地域は、自分たちで守る。」という意識の下、災害を少しでも減らすための活動を行うことが望まれている。平成24年度から地域の安全・安心を高めるために、地域ぐるみで自主防災組織を活性化させ、地域防災力の強化を図る、地域防災リーダー（SBL）の養成を開始した。平成28年現在、市内で584名を養成している。

自主防災組織本部  
(管理統括)

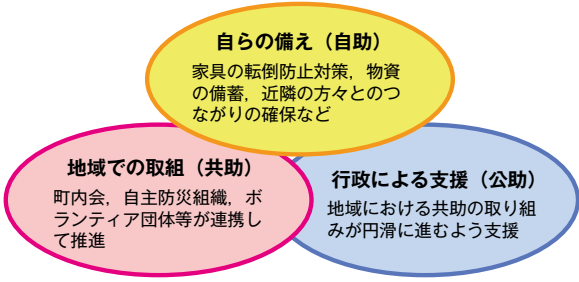
- 情報収集・伝達  
(情報の収集・伝達)
- 初期消火  
(消火器等による初期消火)
- 救出・救護  
(負傷者の救出・救護)
- 避難誘導  
(住民の避難誘導)
- 給食・給水  
(炊き出し、物資の調達・配分)

## 2 自助・共助・公助

災害時の安否確認や避難誘導などを速やかに行うには、自分自身が日頃から災害に備える「自助」と、地域住民同士や地域団体が連携する「共助」が重要となる。

そうした「自助」「共助」に、市や公的機関による「公助」が一体となって取り組むことが大切である。また、「共助」には、日頃から地域の状況について関心を持つことが必要になる。

災害時にまず重要なことは、自らの身を守る「自助」であるが、地域で行われている様々な活動に積極的に参加するなど、近隣の方とのつながりを大切にして「共助」の体制も築いておくようにしよう。



## 3 私たち中学生の力で、未来を切り拓こう



地域の方々にコスモスのおすそわけ（五城中）



私たちの町は私たちの手で（南吉成中）



町内会長さんと地域防災についての話し合い（七郷中）



地域の方々と避難所運営を考える（中田中）



地域の方々が中学生に期待することは（南小泉中）



地域の方々と合同防災訓練（郡山中）



地域の方々と避難所開設訓練（北仙台中）



非常時に備えた炊き出し訓練（長命ヶ丘中）